

特定非営利活動法人

地球生物 (ALIVE) 代表者 殿

麻布大学長

浅利 昌男

獣医学部長

山下 匡



本学獣医学部における動物実験の管理状況と代替法の導入状況について (追加質問)

(回答)

平成 29 年 8 月 2 日付けで、御依頼のありました追加質問内容について次のとおり回答いたします。

1. 生きた動物を安楽死させてから死体を用いる実習について

獣医解剖学実習や実験動物学実習などがこれに該当します。

これらの実習では動物種によって異なる臓器の位置、大きさ、形態、色調などを比較、学習させます。

2. 動物を処置 (実験) 後に安楽死させる実習について

獣医生理学実習、獣医薬理学実習、環境毒性学実習などがこれに該当します。

これらの実習では麻酔下にて心電図、筋電図など生理生化学的反応を観察、学習します。

また、過剰麻酔により安楽死させた後、血管、筋肉などの一部を摘出し、それらの生理生化学的反応などを観察、学習させます。

この他、実験動物学実習、獣医外科学実習では、適切な鎮痛、麻酔法や手術法、蘇生法、術後管理法について学びます。

これらの実習にあつては、実習前に消毒法や器具の取扱などを学び、代替法 (縫いぐるみ、プラスチックモデルなど) を用い、保定法、投与法、採血法、挿管法、縫合法などを訓練した後、実際に動物を取り扱うこととなります。

3. 動物が処置 (実験) の最中に死亡する可能性がある実習について

学生には、動物に対し薬物、化学物質 (麻酔、鎮痛薬を除く) を投与し、動物を致死させる、または致死の危険を伴うような実習を実施させることは、ございません。

教育上、できる限り苦痛を軽減するため、麻酔下での実習が基本となりますし、代替法がある事を教育します。

【主な実習科目と使用する動物種】

- |                           |                          |
|---------------------------|--------------------------|
| ・ 獣医解剖学実習 : 犬、牛、馬、鶏       | ・ 動物遺伝育種学実習 : 鶏 (発生胚の組織) |
| ・ 獣医生理学実習 : ラット           | ・ 獣医微生物学実習 : 鶏 (胎児)      |
| ・ 環境毒性学実習 : ラット、マウス       | ・ 寄生虫学実習 : 鶏             |
| ・ 獣医薬理学実習 : マウス、ウサギ、モルモット | ・ 獣医生理学実習 I : ウシガエル      |
| ・ 獣医外科学実習 : イヌ            |                          |
| ・ 実験動物学実習 : マウス、ラット、モルモット |                          |